

1) システムの名称：

放射線レポートシステム ProRad RS (プロラドールエス)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

5. 画像検査系

3) 特色：

放射線レポートシステム ProRad RS は、放射線レポートに加え、マンモ、エコー、循環器など診療科の垣根を越えて様々な検査レポートを記載・管理することができるシステムです。全ての検査結果を集約することで、診療科を跨る検査や部門検査のレポートもスムーズに参照できる他、学会発表や個人の研究、カンファレンス向けのツールとして研究・統計にも活用できます。また、通常の読影業務だけでなく読影依頼や検査依頼書なども管理することで、放射線科での効率的な運用を実現します。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

■必要十分な機能を搭載したシンプルな画面

検査一覧画面と所見入力画面のシンプルな2画面構成により、日々の業務をサポートします。ユーザーの使い勝手にこだわった様々な機能を搭載しており、レポートの進捗確認や記載時に必要な情報をすぐに参照することができます。

■効率的な運用をサポートする多彩な機能

読影依頼機能

簡単な操作で読影医を指定して読影依頼を行うことができます。研修医への読影指示も行えます。

患者のフォローアップ機能

経過を参照したい患者の術後経過や病理の結果参照など、必要な情報をキャッチし継続的にフォローします。

ビューア起動連携

マンモ、PET、3D、アンギオなどの専用ビューアと連携し、1クリックで起動することができます。

ティーチングファイル

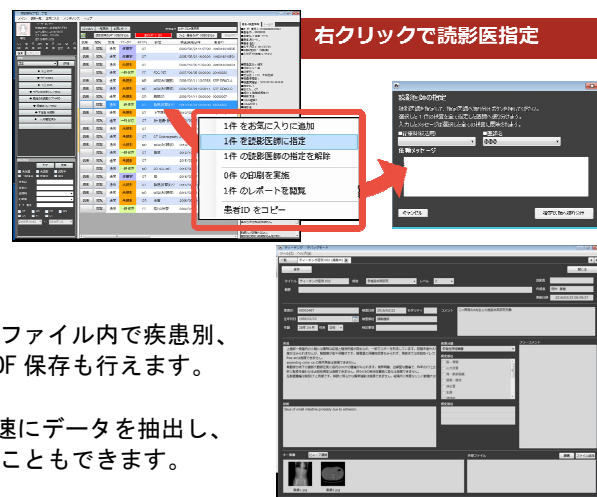
レポートから簡単な操作で症例登録を行い、ティーチングファイル内で疾患別、部位別に分類化したりすることができます。参考文献のPDF保存も行えます。

高速かつ高度な検索機能

複雑な条件式を利用して、RIS情報とレポート内容から高速にデータを抽出し、二次利用することができます。出力項目の順番を指定することもできます。

HIS・外部システム連携機能

電子カルテとのオーダー起動連携、レポート送信に加え、院内文書システムと連携することができます。



右クリックで読影医指定

■読影医の業務を効率化する機能

メッセージ機能

電子カルテよりもレポートシステムを利用することの多い放射線科の運用に合わせて、ログイン時にメッセージを通知し見落としなく確実に情報伝達を行います。

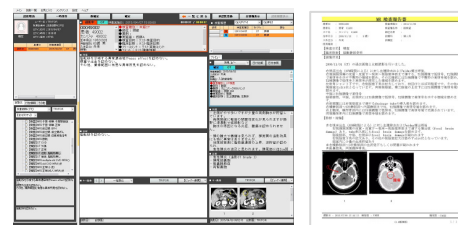
レポートチェック機能

画面遷移を繰り返さずに次々に読影やレポートをチェックできるので、一日の読影業務後のチェックやカンファレンスもスピーディに行えます。

■各部門・診療科の様々なレポートを記載可能

放射線科レポート

過去検査一覧を同一画面に有しているので、画面移動することなく過去から現在までの経過を確認することができ、過去所見や過去画像を参照・比較しながら記載を行うことができます。所見入力時には定型文や音声入力ソフトを利用して容易に入力を行える他、ダイレクトにビューアを起動して画像を参照したり、キー画像をレポートに貼り付けたりすることもできます。画像だけでなくシェーマも貼り付けられ、読影医にとって使いやすく入力しやすいレポートシステムです。



マンモレポート

紙ベースで記載を行ってきた医師にも違和感のないテンプレートをご用意。面倒な手入力によるコメント記載は不要で、シェーマ記載を行うとカテゴリ判別を行い、そのカテゴリに応じた所見が自動入力されます。見落としをなくす為のダブルチェック読影にも対応。ダブルチェックや複数人でのチェック、シングルチェックなど、施設によって異なるレポート作成運用にも対応できます。

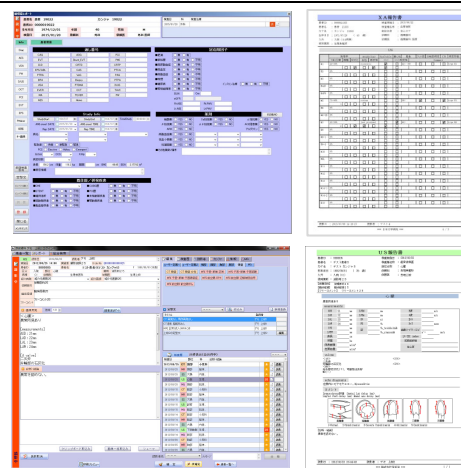


循環器内科レポート

CAG、PCI、PaceMaker、ABLATION など循環器内科で必要とされる手技や処置に合わせた詳細なテンプレートにより、用途に応じて漏れなく所見作成を行うことができます。検索においては、循環器専用の検索機能により細かな症例の抽出が可能です。日本心血管インターベンション治療学会の症例登録（J-PCI レジストリ）にも対応しており、レポート入力した内容を自動的に J-PCI 専用フォーマットに反映させ印刷することもできます。

エコーレポート

確認部位が多く、部位に応じて必要な所見テンプレートが変わってくるエコー検査も、豊富なテンプレートにより手描きや DB ソフトでの個別管理から解放されます。タッチペンを使用したシェーマ記載や SR 情報の自動連携により、煩雑なエコー所見を効率的に入力することができます。



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

■データ交換規約

・ HL7 (Ver2.5) / 患者情報 (ADT) 検査情報 (ORM)

■データ交換手法

・ TCP-IP ソケット

■IHE-J コネクタソン

・ IHE-J2013 コネクタソンにて、テストを実施し SWF/IM OP-OF については確認済み

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

■サーバ構成

シングルサーバ構成（※必要に応じてウォームスタンバイ構成クラスタ構成、仮想環境）

オペレーティングシステム：Windows Server 2008 R2 Std, Windows Server 2012 R2 Std

DBMS：Microsoft SQL Server 2012 Standard, Microsoft SQL Server 2014 Standard

CPU：Intel® Xeon® Processor E3-1220 v5 (8M Cache, 4C/3.00 GHz) 以上

メインメモリ：4GB 以上（推奨 8GB 以上） HDD：1TB(実行容量) 以上

■クライアント構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載

オペレーティングシステム：Windows7, Windows8.1, Windows10

CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上

メインメモリ：4GB 以上

画面解像度：SXGA(1280×1024) 以上

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様及びモダリティメーカー様と打合せ（6 回程度）・通常 2～3 か月程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

ソフトウェア・導入作業費用：7～8 桁

9) 保守の内容と費用：

■保守内容

対応内容：稼働時初期教育（オペレーション説明、マニュアル配布）、運用開始時立会い

障害発生時の電話サポート、リモート又はオンサイト対応、毎月のログ確認

前提条件：リモート接続可能な保守用 VPN 環境が有る場合

■保守費用

システム規模、保守内容によって異なります。

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

株式会社ファインデックス（旧ピーエスシー）

<http://findex.co.jp/>

東京本社 〒105-6133 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 33F

TEL:03-5408-3745

FAX:03-5408-3744

松山本社 〒790-0003 愛媛県松山市三番町 4-9-6 NBF 松山日銀前ビル 11F

TEL:089-947-3388

FAX:089-947-1133

大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2-6-18 淀屋橋スクエア 11F

TEL:06-6220-1401

FAX:06-6220-1402

※弊社 HP のお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。

https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html